

事業名:	○○○○ x x x x 事業
資金分配団体:	特定非営利活動法人○○○団体
実行団体数:	○○団体
実施時期:	2020年 月～2021年 月
事業対象地域:	○○県
事業対象者:	○○○○

進捗報告/事後評価に向けた評価計画

I. 実施状況の分析

リスク要因の把握と対処:事業実施上想定されるリスク要因 (組織外、組織内)	状況の把握方法	想定する対応方法
(事業実施上リスクとなりうる要因を記載ください。コロナの影響によるニーズの変化の把握等、外部環境だけでなく、運営の設計や人員の手配など、内部環境部分も併せて記載ください。)	(それぞれのリスクに対し、団体としてどのように把握をしていくのか、確認方法や具体的な確認先などの実行計画についてご記載ください。)	(想定し、把握したリスクに対し、団体としてどのような対応を現在考えているか、どのように検討するかについてご記載ください。)

II. 見直し後*の事業実施で達成される状態（アウトプット） 及び アウトプト指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実施を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
(課題の再設定等を通じ、見直しをした事業目標について記載ください。変更がない指標についてもお手数ですが再度ご記載ください)				

*実行団体の事業計画等から見直した結果

III. 見直し後(*)の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び 目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

事業実施後（1年後）以降に目標とする状態	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	実施時期
(課題の再設定等を通じ、見直しをした、1年後以降に目標とする状況、実現したい状況について記載ください。変更がない指標についてもお手数ですが再度ご記載ください)			

*実行団体の事業計画等から見直した結果

事業名:	子どもの為の支援事業
資金分配団体:	特定非営利活動法人〇〇〇
実行団体数:	7 団体
実施時期:	2020年8月～2021年8月
事業対象地域:	東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県
事業対象者:	コロナで休校対象となった学校に通学する学生

事業計画書でご記載いただいている
ものをご転記下さい。

進捗報告/事後評価に向けた評価計画

I. 実施状況の分析

リスク要因の把握と対処: 事業実施上想定されるリスク要因 (組織外、組織内)	状況の把握方法	想定する対応方法
・再度の緊急事態宣言により、集合型の学習機会提供が困難となるリスク ・学校、もしくは教育委員会の方針変更に伴い、学校現場での機器提供が難しくなるリスク	(それぞれのリスクに対し、団体としてどのように把握をしていくのか、確認方法や具体的な確認先などの実行計画についてご記載ください。)	(想定し、把握したリスクに対し、団体としてどのような対応を現在考えているか、どのように検討するかについてご記載ください。)

II. 見直し後*の 事業実施で達成される状態（アウトプット） 及び アウトプット指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実施を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
子どもの居場所が広く新規開設され、学習支援の機会が提供されている	①5子どもの居場所の新規開設数 ②子どもの学習イベントの開催数	①新規開設数のカウント ②イベント開始の告知数	①5カ所 ②20回	2021年3月

*実行団体の事業計画等から見直した結果

III. 見直し後(*)の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び 目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

事業実施後（1年後）以降に目標とする状態	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	実施時期
新設された居場所が経済的合理性を経て、継続開催できる状態となっている。 結果として、学習環境の不足（地域間格差）に基づかない学習の機会が提供されている			

*実行団体の事業計画等から見直した結果